

平成27年度

当初予算案の概要

西宮市

目 次

1. 各会計予算規模	1
2. 一般会計歳入予算の概要	2
3. 一般会計歳出予算の概要	
(1) 目的別内訳	6
(2) 性質別内訳	8
4. 特別会計の概要	10
5. 投資的事業の概要	12
6. 市債の状況	13
7. 基金の状況	14
8. 市民1人あたりの予算額	15

1. 各会計予算規模

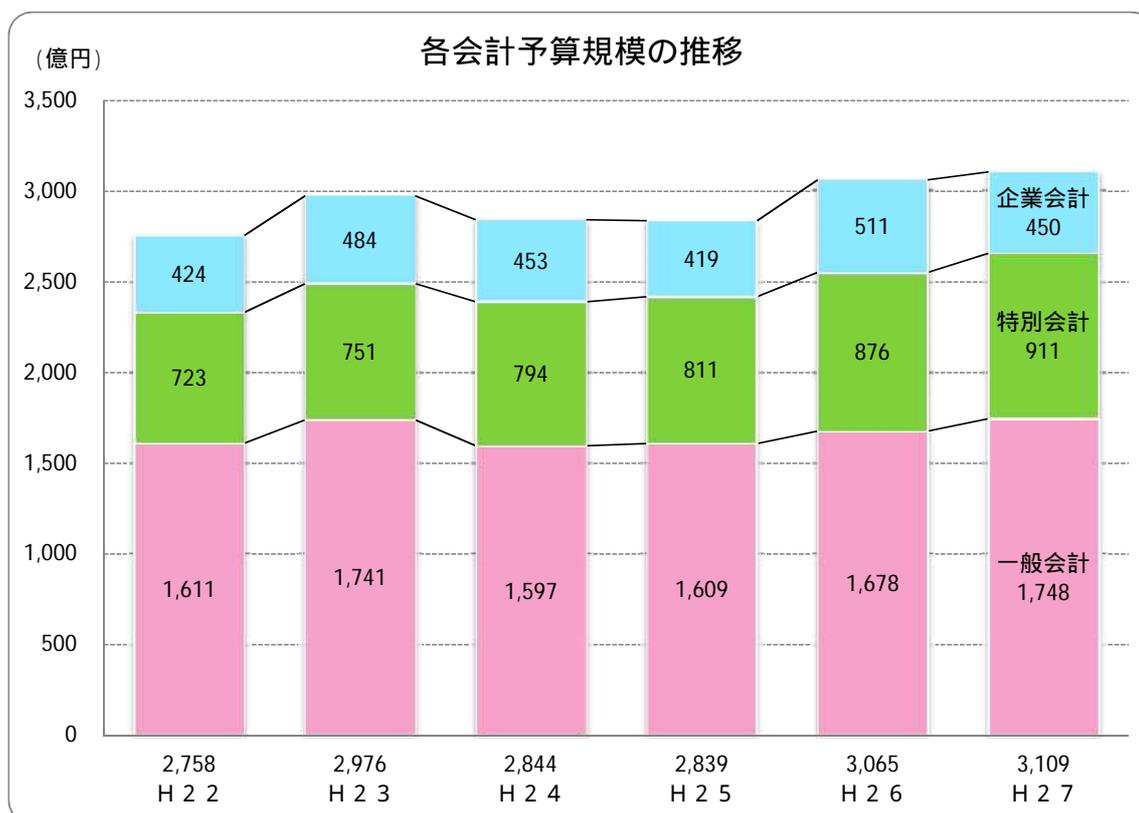
新年度の会計別予算規模は下表のとおりで、総額では前年度から約44億円(1.4%)増の3,109億2,388万4千円となりました。当初予算の総額としては、阪神・淡路大震災直後の平成7年度に次いで過去2番目の規模です。

なお、企業会計では、前年度の会計制度改正による影響額がなくなったことや、病院事業で移転建替用地の取得費が減となったことなどから、前年度と比べ約60億円(11.8%)の減額となっています。

(単位 千円)

区 分	平 成 27 年 度		平 成 26 年 度		比 較 増 減		
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	増減率(%)	
一 般 会 計	174,750,339	56.2	167,840,289	54.7	6,910,050	4.1	
特 別 会 計	91,108,906	29.3	87,622,081	28.6	3,486,825	4.0	
企 業 会 計	45,064,639	14.5	51,085,684	16.7	6,021,045	11.8	
内 訳	水 道	14,186,826	4.6	17,573,324	5.7	3,386,498	19.3
	工 業 用 水 道	655,567	0.2	630,169	0.2	25,398	4.0
	下 水 道	23,809,198	7.6	23,552,303	7.7	256,895	1.1
	病 院	6,413,048	2.1	9,329,888	3.1	2,916,840	31.3
合 計	310,923,884	100.0	306,548,054	100.0	4,375,830	1.4	

企業会計の予算額は収益的支出と資本的支出の合計額



2. 一般会計歳入予算の概要

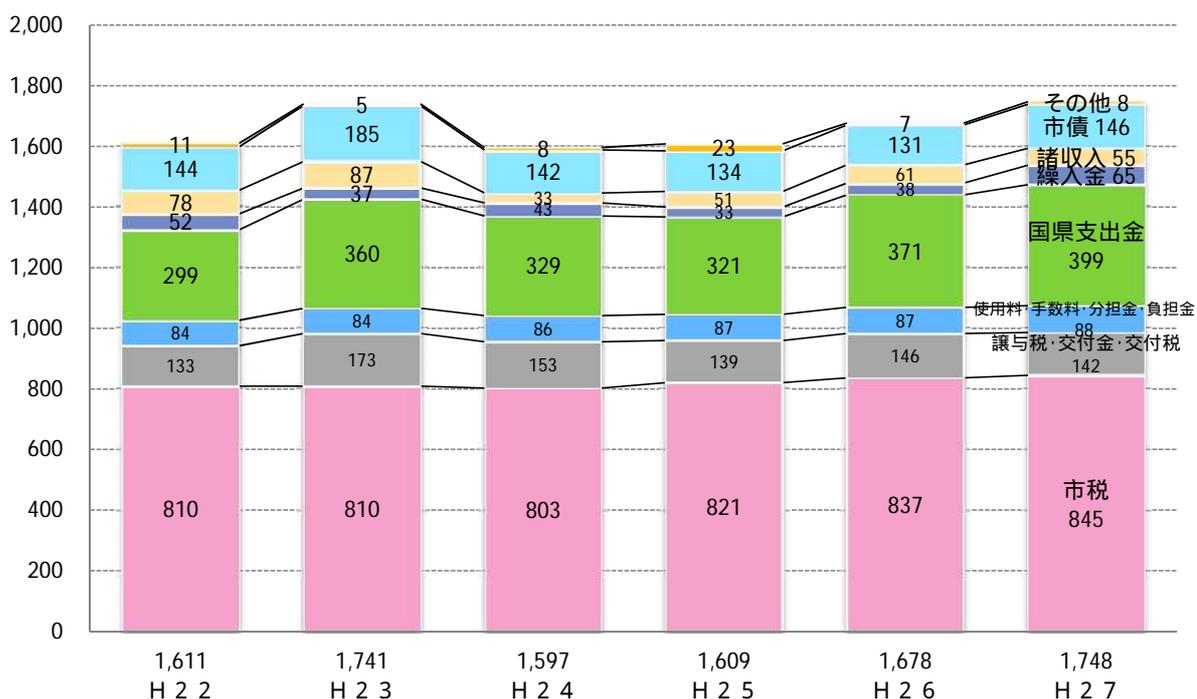
歳入の根幹である市税が7億8,339万3千円の増、地方消費税交付金が28億1,200万円の増となる一方で、地方交付税は32億8,400万円の減を見込んでいます。

(単位 千円)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		比較 増 減	
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
市 税	84,488,092	48.4	83,704,699	49.9	783,393	0.9
地 方 譲 与 税	763,301	0.4	782,301	0.5	19,000	2.4
利 子 割 交 付 金	240,000	0.1	276,000	0.2	36,000	13.0
配 当 割 交 付 金	503,000	0.3	505,000	0.3	2,000	0.4
株式等譲渡所得割交付金	265,000	0.2	87,000	0.0	178,000	204.6
地方消費税交付金	7,293,000	4.2	4,481,000	2.7	2,812,000	62.8
ゴルフ場利用税交付金	131,000	0.1	139,000	0.1	8,000	5.8
自動車取得税交付金	156,000	0.1	147,000	0.1	9,000	6.1
地方特例交付金	235,000	0.1	273,000	0.2	38,000	13.9
地方交付税	4,502,000	2.6	7,786,000	4.6	3,284,000	42.2
交通安全対策特別交付金	82,000	0.0	85,000	0.0	3,000	3.5
分担金及び負担金	2,395,042	1.4	2,394,514	1.4	528	0.0
使用料及び手数料	6,434,992	3.7	6,328,322	3.8	106,670	1.7
国庫支出金	29,908,618	17.1	28,589,412	17.0	1,319,206	4.6
県支出金	10,014,413	5.7	8,540,719	5.1	1,473,694	17.3
財産収入	722,962	0.4	715,587	0.4	7,375	1.0
寄附金	21,440	0.0	22,440	0.0	1,000	4.5
繰入金	6,522,766	3.7	3,812,280	2.3	2,710,486	71.1
繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸収入	5,525,112	3.2	6,119,014	3.6	593,902	9.7
市 債	14,546,600	8.3	13,052,000	7.8	1,494,600	11.5
計	174,750,339	100.0	167,840,289	100.0	6,910,050	4.1

(億円)

一般会計歳入当初予算額の推移



・一般会計歳入予算の主な増減

<市税> + 783,393 千円 (0.9%増)

市民税や固定資産税などの増により、前年度に比べ7億8,339万3千円の増を見込んでいます。(4~5ページ参照)

<地方消費税交付金> + 2,812,000 千円 (62.8%増)

消費増税の影響が平年度化されることにより、前年度に比べ28億1,200万円の増を見込んでいます。

<地方交付税> 3,284,000 千円 (42.2%減)

地方の財源不足を補てんする地方交付税は、市税や地方消費税交付金の増収により、前年度に比べ32億8,400万円の減を見込んでいます。なお、普通交付税の振替財源である臨時財政対策債を合わせた実質的な地方交付税は37億9,000万円(25.4%)の減を見込んでいます。

<国庫支出金> + 1,319,206 千円 (4.6%増)

子ども・子育て支援新制度への移行や保育施設の受入児童数の増などに伴う負担金及び補助金の増(+14億157万8千円)や、個人番号(マイナンバー)制度システム整備に伴う補助金の増(+2億6,707万7千円)、小学校の新設及び改築をはじめとする投資的事業の増などにより、前年度に比べ13億1,920万6千円の増となっています。

<県支出金> + 1,473,694 千円 (17.3%増)

子ども・子育て支援新制度への移行や保育施設の受入児童数の増などに伴う負担金及び補助金の増(+10億4,884万5千円)、国勢調査実施に伴う委託金の増(+2億5,796万2千円)などにより、前年度に比べ14億7,369万4千円の増となっています。

<繰入金> + 2,710,486 千円 (71.1%増)

財政基金からの繰入を増額(+27億7,700万円)することで、必要な財源を確保した結果、前年度に比べ27億1,048万6千円の増になりました。

<諸収入> 593,902 千円 (9.7%減)

給食費の改定などにより、学校給食費負担金収入が増(+6,525万7千円)となりますが、中央病院移転整備に係る短期貸付元金の減(7億円)などにより、前年度に比べ5億9,390万2千円の減となっています。

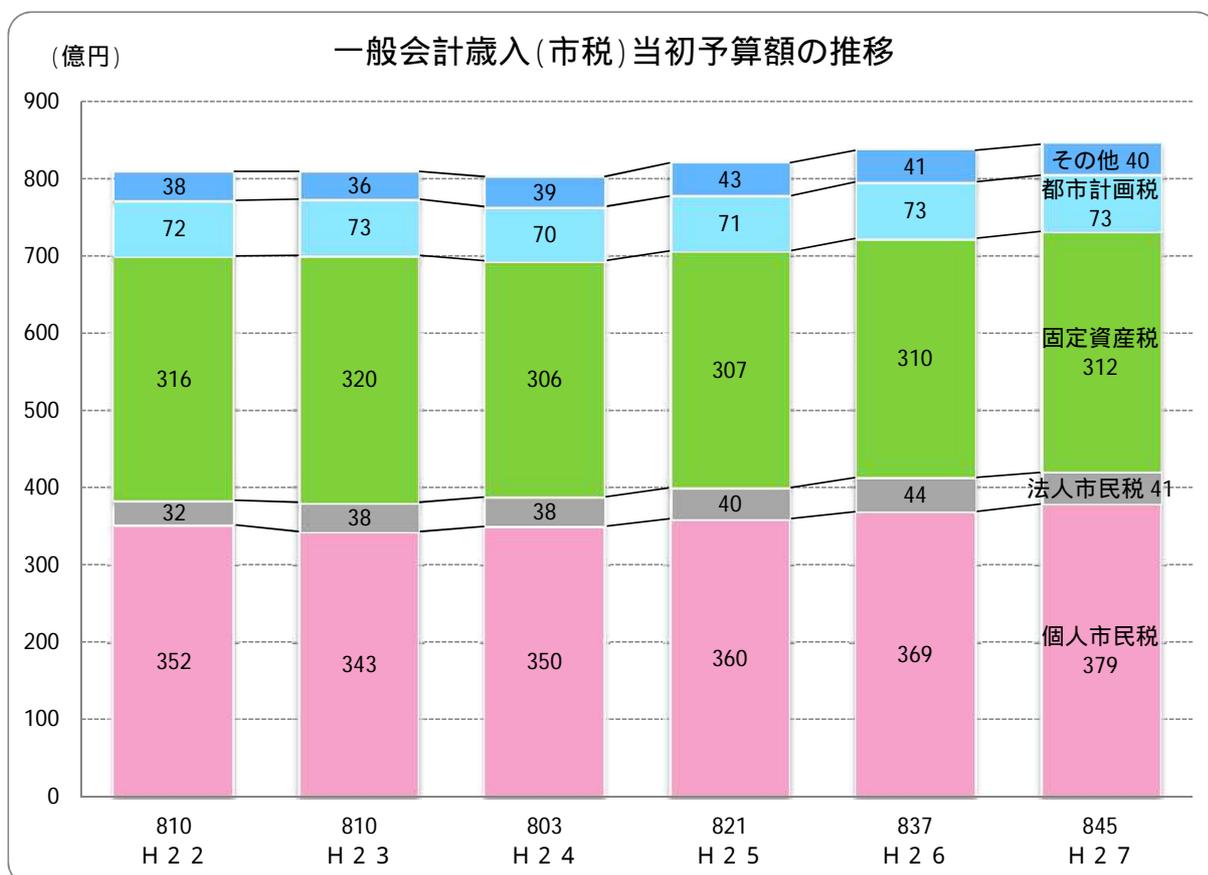
<市債> + 1,494,600 千円 (11.5%増)

臨時財政対策債は地方交付税からの振替額の縮小による減額(5億600万円)を見込んでいますが、小学校の新設事業や校舎等増改築事業などにかかる教育債の増(+29億6,620万円)などにより、前年度に比べ14億9,460万円の増となっています。

<市税>の内訳

(単位 千円)

区 分		平成 27 年 度		平成 26 年 度		比 較 増 減	
		予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
市 民 税		41,965,816	49.7	41,250,003	49.3	715,813	1.7
内 訳	個 人	37,894,400	44.9	36,861,652	44.0	1,032,748	2.8
	法 人	4,071,416	4.8	4,388,351	5.3	316,935	7.2
固 定 資 産 税		31,223,552	36.9	31,045,784	37.1	177,768	0.6
軽 自 動 車 税		236,303	0.3	233,048	0.3	3,255	1.4
市 た ば こ 税		2,352,214	2.8	2,563,029	3.0	210,815	8.2
特 別 土 地 保 有 税		2	0.0	2	0.0	0	0.0
入 湯 税		21,609	0.0	28,308	0.0	6,699	23.7
事 業 所 税		1,358,844	1.6	1,326,378	1.6	32,466	2.4
都 市 計 画 税		7,329,752	8.7	7,258,147	8.7	71,605	1.0
計		84,488,092	100.0	83,704,699	100.0	783,393	0.9



・市税の主な増減

<個人市民税> + 1,032,748 千円 (2.8%増)

納税義務者数の増(約2,000人)、給与所得の増などにより、前年度に比べ10億3,274万8千円の増を見込んでいます。

<法人市民税> 316,935 千円 (7.2%減)

平成26年度税制改正により地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の解消を図ることを目的に法人税割の税率(1)が引き下げられました。また、平成27年度税制改正において成長志向に重点を置いた法人税改革として法人税の税率(2)が引き下げられます。これらの影響で、前年度に比べ3億1,693万5千円の減を見込んでいます。

《法人税割の税率：9.7% [12.1%] 12.3% [14.7%] []：制限税率》
(1)平成26年10月1日以降開始の事業年度分より適用

《法人税(国税)の税率：23.9% 25.5%》
(2)平成27年4月1日以降開始の事業年度分より適用

<固定資産税> + 177,768 千円 (0.6%増)

家屋は経過年数による減価が進むため減となりますが、平成27年度は3年に一度の固定資産評価替えの年にあたり、地価の上昇や企業の設備投資等により土地及び償却資産が増となるため、前年度に比べ1億7,776万8千円の増を見込んでいます。

<市たばこ税> 210,815 千円 (8.2%減)

喫煙率の低下に加え、平成26年4月の消費税率引き上げの影響により、たばこの売渡本数が減となっていることから、前年度に比べ2億1,081万5千円の減を見込んでいます。

<都市計画税> + 71,605 千円 (1.0%増)

固定資産税と同様に地価の上昇等により、前年度に比べ7,160万5千円の増を見込んでいます。

<その他> + 29,022 千円 (1.8%増)

事業所税は課税床面積の増や従業員の給与増などにより前年度に比べ3,246万6千円の増を見込んでいますが、入湯税については669万9千円の減を見込んでいます。

3. 一般会計歳出予算の概要

(1) 目的別内訳

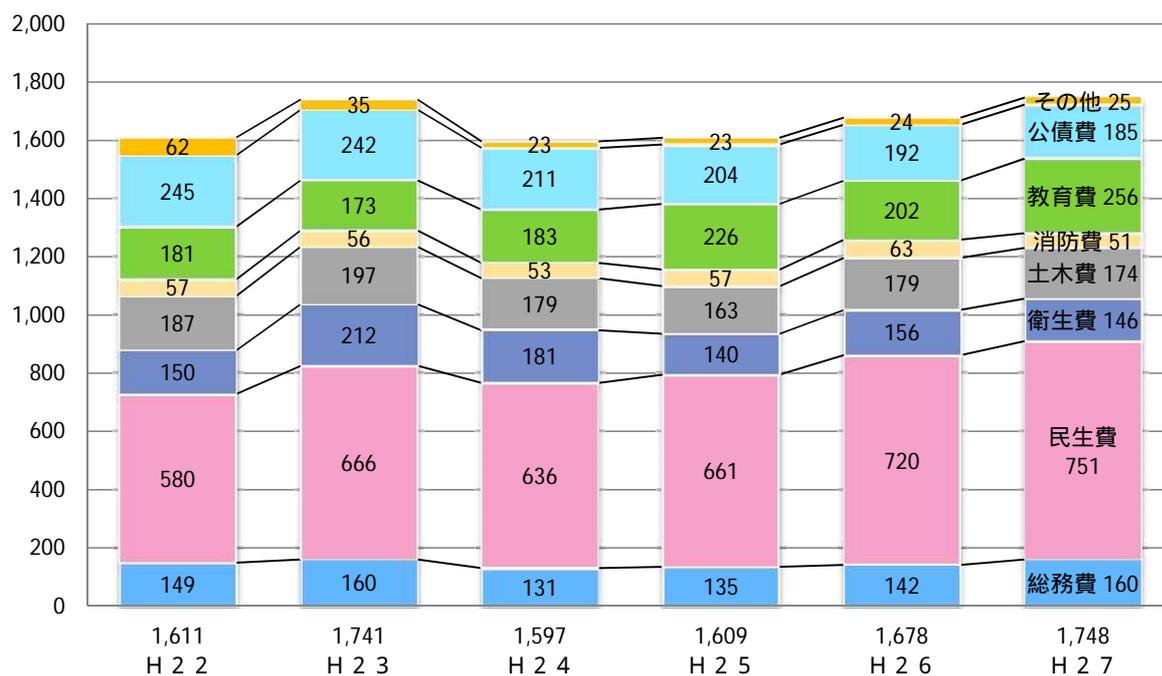
一般会計の歳出を目的別で見ると、教育費が小学校の施設整備事業などの増により、54億2,838万6千円の増額、民生費が児童福祉費や障害福祉費、生活保護費の増などにより、30億3,661万4千円の増額となりました。

(単位 千円)

区分	平成 27 年度		平成 26 年度		比較増減	
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
議会費	959,386	0.6	954,773	0.6	4,613	0.5
総務費	15,971,860	9.1	14,165,821	8.4	1,806,039	12.7
民生費	75,082,913	43.0	72,046,299	42.9	3,036,614	4.2
衛生費	14,637,839	8.4	15,617,232	9.3	979,393	6.3
労働費	250,416	0.1	254,500	0.2	4,084	1.6
農林水産費	154,558	0.1	131,510	0.1	23,048	17.5
商工費	1,021,787	0.6	944,818	0.6	76,969	8.1
土木費	17,344,947	9.9	17,927,539	10.7	582,592	3.2
消防費	5,079,023	2.9	6,320,155	3.8	1,241,132	19.6
教育費	25,628,477	14.7	20,200,091	12.0	5,428,386	26.9
災害復旧費	2,000	0.0	3,000	0.0	1,000	33.3
公債費	18,549,970	10.6	19,208,135	11.4	658,165	3.4
諸支出金	17,163	0.0	16,416	0.0	747	4.6
予備費	50,000	0.0	50,000	0.0	0	0.0
計	174,750,339	100.0	167,840,289	100.0	6,910,050	4.1

(億円)

一般会計歳出当初予算額の推移(目的別)



・一般会計歳出予算(目的別)の主な増減

<総務費> + 1,806,039 千円 (12.7%増)

公共施設保全積立基金への積立金(6億119万7千円)や個人番号(マイナンバー)制度関連経費(5億1,841万1千円)、国勢調査費(2億5,796万2千円)の皆増などにより、前年度に比べ18億603万9千円の増となっています。

<民生費> + 3,036,614 千円 (4.2%増)

子ども・子育て支援新制度への移行や受入児童数の増などにより、児童保育費が増(+22億2,308万5千円)となっていることや、公立保育所等耐震化事業など児童福祉施設建設費の増(+6億5,679万6千円)、障害者介護給付等事業経費など障害援護費の増(+4億2,327万7千円)などにより、前年度に比べ30億3,661万4千円の増となっています。

<衛生費> 979,393 千円 (6.3%減)

予防接種事業経費など保健予防費の増(+2億5,664万4千円)や西部総合処理センター基幹設備更新事業費など清掃施設整備費の増(+2億4,792万9千円)があったものの、中央病院の移転整備に係る病院事業会計補助金等(18億4,812万円)の皆減などにより、前年度に比べ9億7,939万3千円の減となっています。

<土木費> 582,592 千円 (3.2%減)

歩道新設改良事業費など道路橋梁新設改良費の減(3億5,087万7千円)や、山手幹線などの街路事業費の減(1億5,052万2千円)などにより、前年度に比べ5億8,259万2千円の減となっています。

<消防費> 1,241,132 千円 (19.6%減)

消防・救急無線デジタル化事業費(5億6,700万円)や西宮消防署建替事業費(5億5,784万4千円)の皆減などにより、前年度に比べ12億4,113万2千円の減となっています。

<教育費> + 5,428,386 千円 (26.9%増)

上甲子園小学校及び南甲子園小学校の校舎等増改築事業や高木北小学校新設事業など学校建設費(小学校)の増(+50億8,219万6千円)などにより、54億2,838万6千円の増となっています。

<公債費> 658,165 千円 (3.4%減)

市債残高の減少による長期債利子の減(3億4,776万3千円)や償還期間満了による元金の減(3億1,040万2千円)により、前年度に比べ6億5,816万5千円の減となっています。

(2) 性質別内訳

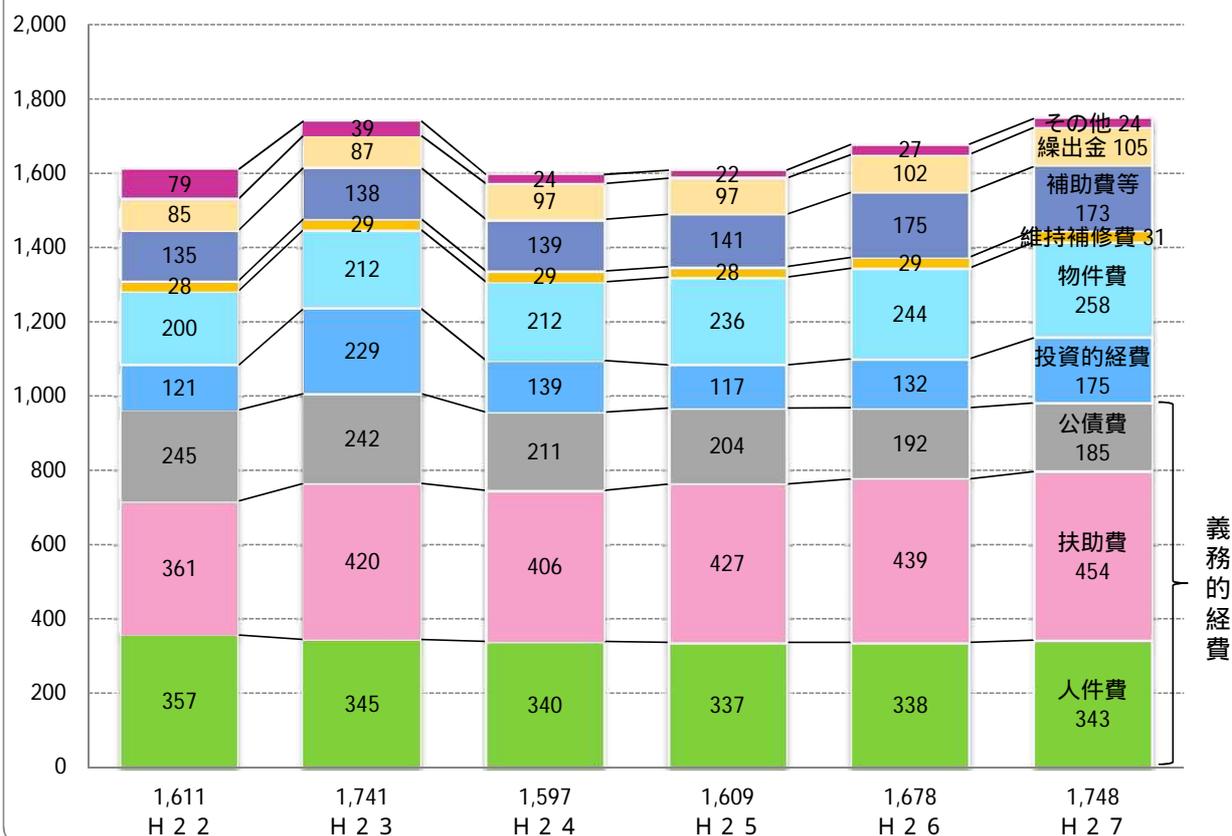
一般会計の歳出を性質別で見ると、投資的経費が小学校の校舎等増改築事業や新設事業の実施などにより、42億6,352万2千円(32.3%)の大幅な増となっています。また、義務的経費も扶助費の伸びにより13億7,440万6千円の増となりました。

(単位 千円)

区分	平成27年度		平成26年度		比較増減		
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	増減率(%)	
義務的経費	98,231,189	56.2	96,856,783	57.7	1,374,406	1.4	
内訳	人件費	34,277,796	19.6	33,759,868	20.1	517,928	1.5
	扶助費	45,403,423	26.0	43,888,780	26.2	1,514,643	3.5
	公債費	18,549,970	10.6	19,208,135	11.4	658,165	3.4
投資的経費	17,457,919	10.0	13,194,397	7.9	4,263,522	32.3	
物件費	25,782,659	14.7	24,369,745	14.5	1,412,914	5.8	
維持補修費	3,067,207	1.8	2,955,841	1.8	111,366	3.8	
補助費等	17,312,672	9.9	17,517,556	10.4	204,884	1.2	
繰出金	10,511,077	6.0	10,246,363	6.1	264,714	2.6	
その他	2,387,616	1.4	2,699,604	1.6	311,988	11.6	
内訳	積立金	802,929	0.5	222,049	0.1	580,880	261.6
	投資及び出資金	355,765	0.2	501,918	0.3	146,153	29.1
	貸付金	1,178,922	0.7	1,925,637	1.2	746,715	38.8
	予備費	50,000	0.0	50,000	0.0	0	0.0
計	174,750,339	100.0	167,840,289	100.0	6,910,050	4.1	

(億円)

一般会計歳出当初予算額の推移(性質別)



・一般会計歳出予算(性質別)の主な増減

<人件費> + 517,928 千円 (1.5%増)

国勢調査の実施に伴う調査員等報酬の増(+1億6,506万円)や共済費の増(+1億9,360万3千円)、子ども関連施策の拡充に伴う嘱託職員の増員などにより、前年度に比べ5億1,792万8千円の増となっています。

<扶助費> + 1,514,643 千円 (3.5%増)

子ども・子育て支援新制度への移行や受入児童数の増などによる給付費の増(+8億3,485万4千円)、障害者介護給付費の増(+4億6,509万5千円)、生活保護扶助費の増(+2億5,752万1千円)などにより、前年度に比べ15億1,464万3千円の増となっています。

<公債費> 658,165 千円 (3.4%減)

市債残高の減少による長期債利子の減(3億4,776万3千円)や償還期間満了による元金の減(3億1,040万2千円)により、前年度に比べ6億5,816万5千円の減となっています。

<投資的経費> + 4,263,522 千円 (32.3%増)

上甲子園小学校及び南甲子園小学校における校舎等増改築事業費の増(+26億6,187万1千円)や高木北小学校新設事業費の増(+12億9,830万4千円)、公立保育所等耐震化事業費の増(+7億1,280万1千円)などにより、前年度に比べ42億6,352万2千円の増となっています。

<物件費> + 1,412,914 千円 (5.8%増)

個人番号(マイナンバー)制度関連経費の皆増(3億3,442万8千円)や、水痘ワクチン等の定期接種化(平成26年10月から)に伴う予防接種事業経費の増(+1億5,456万6千円)、教育用パソコンの更新等による学校情報化推進事業経費の増(+1億1,409万1千円)、こども未来センターの開設に伴う児童発達支援センター等管理運営事業経費の増(+1億615万9千円)などにより、前年度に比べ14億1,291万4千円の増となっています。

<積立金> + 580,880 千円 (261.6%増)

平成26年9月に設置した公共施設保全積立基金への積立金の皆増(6億119万7千円)などにより、前年度に比べ5億8,088万円の増となっています。

<貸付金> 746,715 千円 (38.8%減)

中央病院移転整備に係る短期貸付金の減(7億円)などにより、前年度に比べ7億4,671万5千円の減となっています。

4. 特別会計の概要

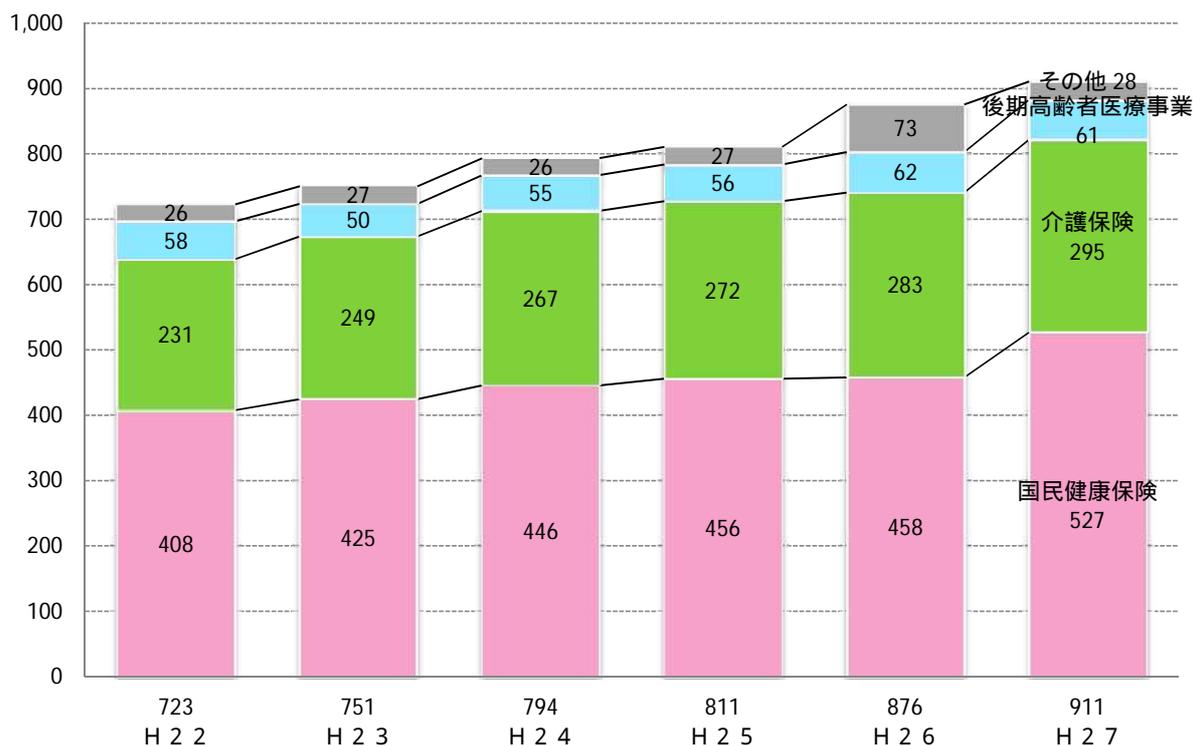
国民健康保険特別会計が前年度より69億5,109万7千円の増となりましたが、公共用地買収事業特別会計が45億1,100万9千円の減となり、特別会計全体では34億8,682万5千円(4.0%)の増となりました。

(単位 千円)

区 分	平成 27 年 度		平成 26 年 度		比 較 増 減	
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
国民健康保険	52,752,553	57.9	45,801,456	52.3	6,951,097	15.2
食肉センター	333,849	0.4	395,531	0.5	61,682	15.6
農業共済事業	11,368	0.0	10,685	0.0	683	6.4
区画整理清算費	514	0.0	534	0.0	20	3.7
中小企業勤労者福祉共済事業	130,371	0.1	131,989	0.2	1,618	1.2
公共用地買収事業	134,403	0.2	4,645,412	5.3	4,511,009	97.1
介護保険	29,471,074	32.4	28,263,400	32.3	1,207,674	4.3
後期高齢者医療事業	6,128,711	6.7	6,258,847	7.1	130,136	2.1
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	33,646	0.0	40,260	0.0	6,614	16.4
鳴尾外財産区	26,706	0.0	24,949	0.0	1,757	7.0
集合支払費	2,085,711	2.3	2,049,018	2.3	36,693	1.8
計	91,108,906	100.0	87,622,081	100.0	3,486,825	4.0

(億円)

特別会計当初予算額の推移



・特別会計の主な増減

< 国民健康保険 > + 6,951,097 千円 (15.2%増)

保険財政共同安定化事業の制度改正()の影響(+69億1,941万9千円)などにより前年度に比べ69億5,109万7千円と大幅な増となっています。

()保険財政共同安定化事業の制度改正・・・県内の市町村国保間の保険料の平準化、財政の安定化を図るため、市町村国保間で医療費の負担を共有する制度で、26年度までは1件が30万円を超え80万円までの医療費が対象でしたが、27年度より80万円までの全ての医療費が対象になります。(80万円を超える医療費は、高額医療費共同事業の対象)

(一般会計からの繰入金:4,618,662千円(前年度比104,408千円増))

< 食肉センター > 61,682 千円 (15.6%減)

食肉センターの整備事業費の減(7,292万1千円)により前年度に比べ6,168万2千円の減となっています。

(一般会計からの繰入金:166,328千円(前年度比5,783千円増))

< 公共用地買収事業 > 4,511,009 千円 (97.1%減)

新体育館・多目的防災公園の用地買収費の減(45億3,125万円)などにより前年度に比べ45億1,100万9千円と大幅な減となっています。

(一般会計からの繰入金:118,140千円(前年度比20,192千円増))

< 介護保険 > + 1,207,674 千円 (4.3%増)

被保険者数の増加に伴う介護サービス利用量の増などにより前年度に比べ12億767万4千円の増となっています。

(一般会計からの繰入金:4,363,177千円(前年度比170,287千円増))

< 後期高齢者医療事業 > 130,136 千円 (2.1%減)

後期高齢者医療広域連合への納付金の減(1億3,420万7千円)などにより前年度に比べ1億3,013万6千円の減となっています。

(一般会計からの繰入金:1,184,618千円(前年度比36,209千円減))

5. 投資的事業の概要

高木北小学校新設事業、南甲子園小学校校舎等増改築事業などが増額となる一方、アサヒビール西宮工場跡地の用地取得などが減額となり、前年度に比べ約3億円の減額となっています。

投資的事業の事業費と財源内訳

(単位 千円)

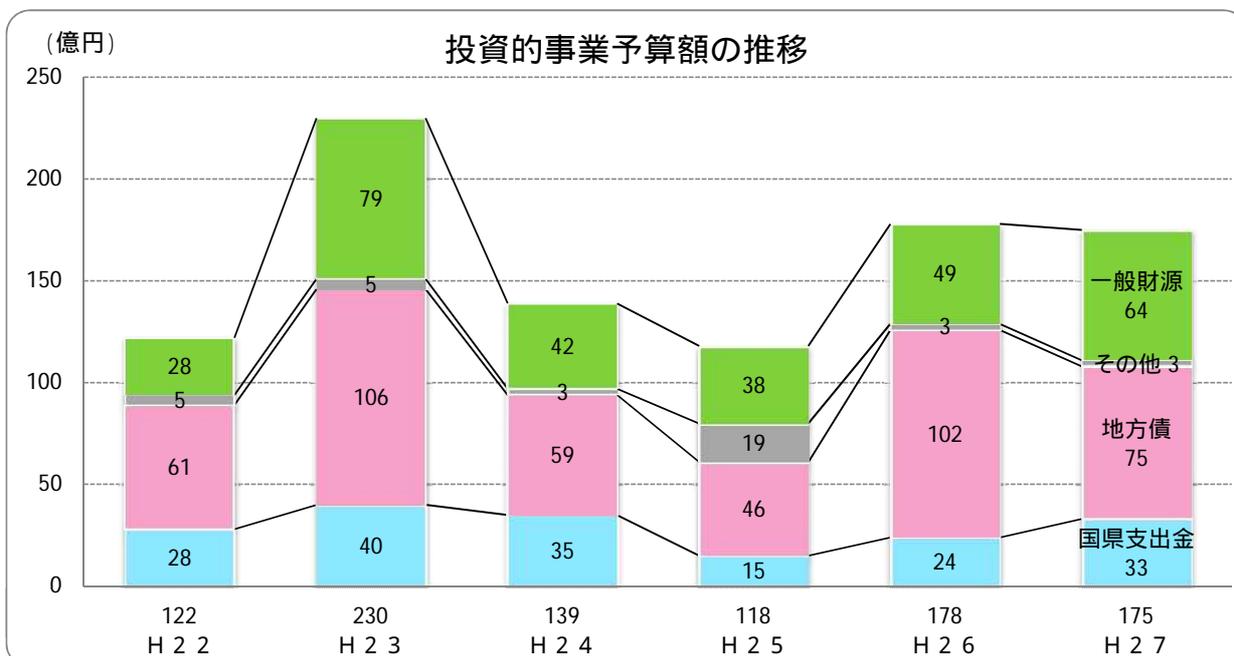
区分	事業費	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
一般会計	17,457,919	3,342,751	7,491,000	249,292	6,374,876
特別会計	60,666	0	15,200	16,263	29,203
合計	17,518,585	3,342,751	7,506,200	265,555	6,404,079

主な投資的事業

(単位 千円)

事業名	事業費	事業概要
高木北小学校新設事業	2,160,100	高木小学校の過大規模を解消するため、平成28年度開校を目指して、高木小学校区内に新設校を整備します。 [平成27年度]:校舎等新設工事完了、外構工事、備品購入
南甲子園小学校校舎等増改築事業	2,154,340	新耐震基準不適合や教室不足の課題を解消するため、校舎全面改築を実施します。 [平成27年度]:校舎改築工事完了
上甲子園小学校校舎等増改築事業	1,338,874	新耐震基準を満たさない北校舎について、児童や地域住民の安全・安心の確保を目的として増改築を行います。 [平成27年度]:校舎改築工事完了、南校舎既存不適格等改修工事、外構工事
小学校施設整備事業	1,314,101	学校の安全・安心対策や老朽設備等の機能改善などを中心に、学校の施設整備を年次的に行います。 [平成27年度]:空調設備整備(10校)、エレベーター設置工事(2校)
市営住宅整備事業	1,114,400	「西宮市営住宅整備・管理計画」に基づき住宅ストックの縮減・更新を図ります。 [平成27年度]:市営石在町団地整備事業、甲子園春風町第1期建替事業、北部集約化計画策定 都市再生機構への償還分は除く。
公立保育所等耐震化事業	855,186	入所児童の安全確保を図るため、耐震診断の結果をもとに施設改修等を実施します。 [平成27年度]:学文殿保育所(建替工事)、大社・小松朝日保育所(改修工事)、むつみ・芦原保育所(移転合築設計)

平成22年度～平成27年度の総事業費及び財源の推移は以下のとおりです。なお、平成23年度は東部総合処理センター建設工事の本格化や、土地開発公社保有地の買戻しを進めたことなどにより大幅な増となっています。



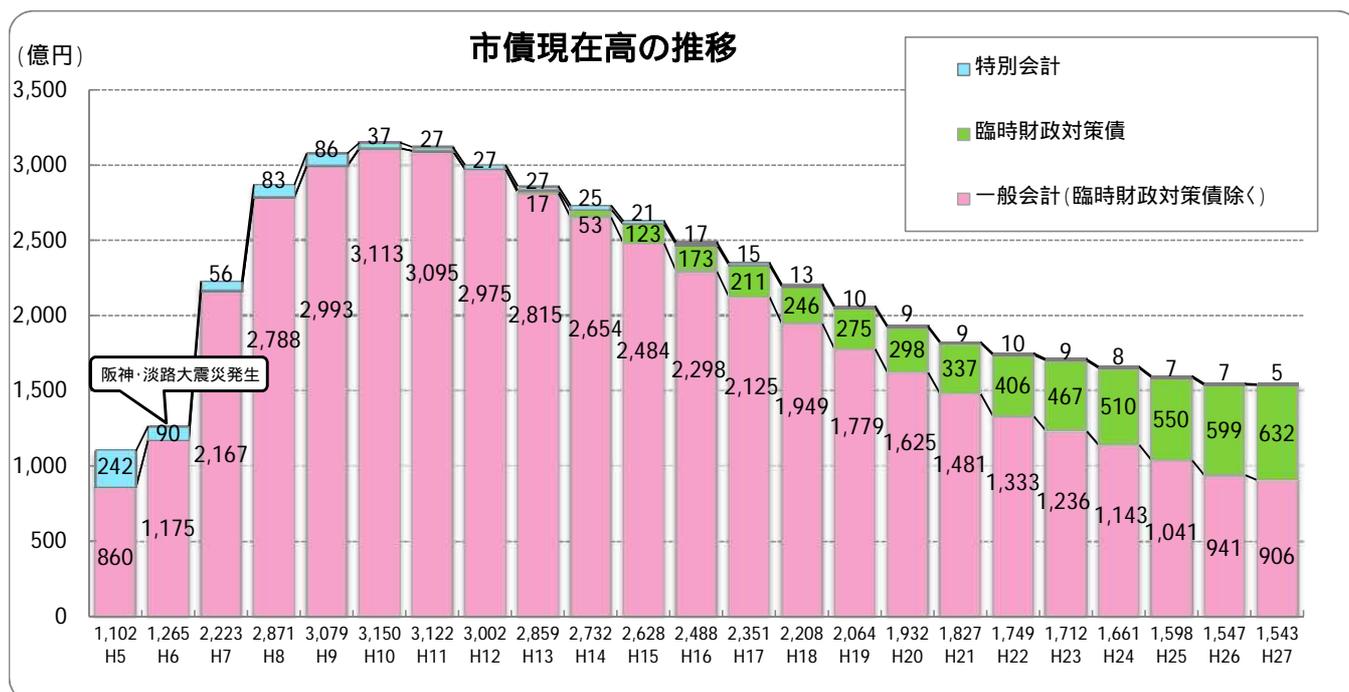
6. 市債の状況

平成27年度は、学校の施設整備や地方交付税の振替財源である臨時財政対策債などで、前年度からの繰越見込分とあわせて161億2,460万円の借入を予定していますが、元金の償還額がそれを上回る165億2,610万4千円となるため、年度末の残高は前年度に比べて4億150万4千円減少し、1,542億6,872万3千円となる見込みです。

(単位 千円)

区分	平成26年度末 現在高見込額 A	平成27年度中の増減額					平成27年度末 現在高見込額 A + F
		元金償還額 B	借入見込額			増減額 F = E - B	
			予算計上額 C	繰越見込額 D	借入見込額計 E = C + D		
一般							
総務債	1,005,512	145,472	25,100	0	25,100	120,372	885,140
民生債	9,349,780	654,067	1,264,900	719,900	1,984,800	1,330,733	10,680,513
衛生債	13,002,872	1,059,455	434,403	0	434,403	625,052	12,377,820
労働債	37,818	9,149	0	0	0	9,149	28,669
商工債	21,915	14,610	0	0	0	14,610	7,305
土木債	48,764,626	8,604,535	1,946,647	403,800	2,350,447	6,254,088	42,510,538
消防債	2,564,829	426,980	89,300	0	89,300	337,680	2,227,149
教育債	13,315,506	1,238,671	4,186,250	374,400	4,560,650	3,321,979	16,637,485
災害復旧債	261,667	94,385	0	64,700	64,700	29,685	231,982
減税補填債	5,378,963	702,676	0	0	0	702,676	4,676,287
臨時税収補填債	451,763	147,601	0	0	0	147,601	304,162
臨時財政対策債	59,864,766	3,298,991	6,600,000	0	6,600,000	3,301,009	63,165,775
合計	154,020,017	16,396,592	14,546,600	1,562,800	16,109,400	287,192	153,732,825
特別							
食肉センター	391,341	31,346	15,200	0	15,200	16,146	375,195
公共用地買収事業	173,600	86,800	0	0	0	86,800	86,800
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	85,269	11,366	0	0	0	11,366	73,903
合計	650,210	129,512	15,200	0	15,200	114,312	535,898
総計	154,670,227	16,526,104	14,561,800	1,562,800	16,124,600	401,504	154,268,723

各年度末の市債残高の推移は下記のグラフのとおりです。震災復旧・復興に多額の市債を発行したため、平成6年度以降急激に膨れ上がりましたが、平成10年度をピークにその後は減少傾向にあります。



グラフ中のH26、H27の現在高は見込額です。

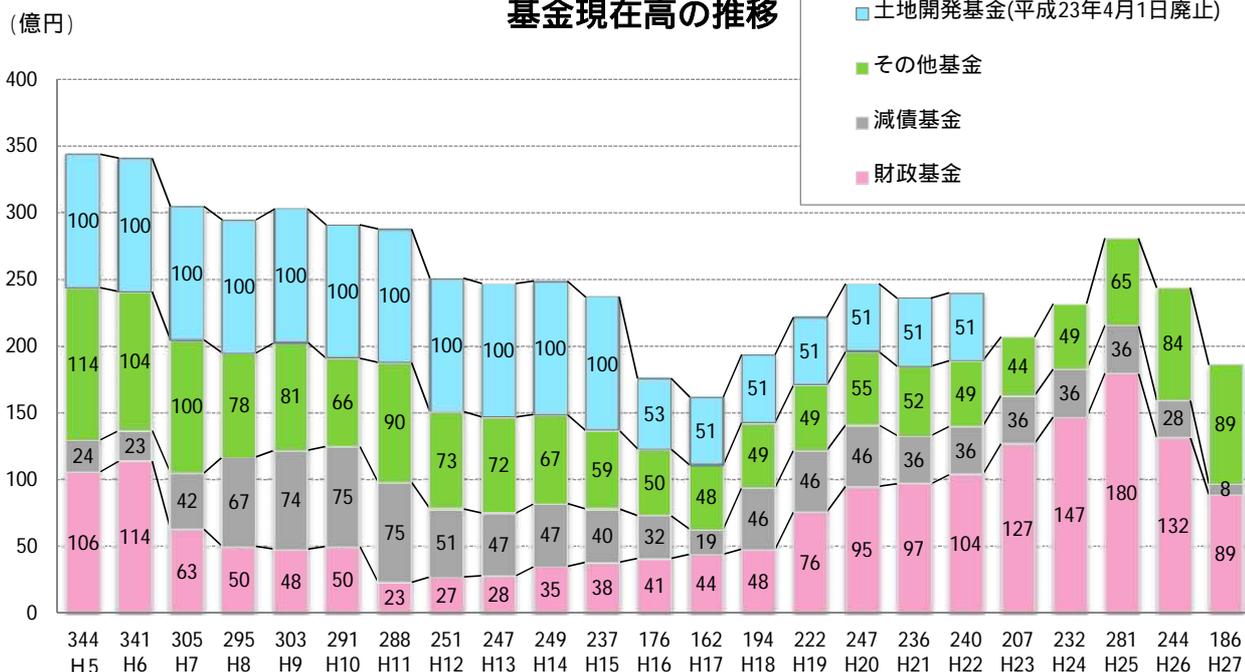
7. 基金の状況

一般会計・特別会計の平成27年度末基金残高は、財政基金で42億6,500万円、減債基金で20億9,045万4千円の取崩しを行うことにより、前年度から58億1,994万2千円減の、185億5,549万5千円となる見込みです。

(単位 千円)

区分	平成26年度末 現在高見込額	平成27年度中増減見込額			平成27年度末 現在高見込額
		積立額	取崩し額	増減額	
財政基金	13,169,638	24,325	4,265,000	4,240,675	8,928,963
減債基金	2,816,863	68,848	2,090,454	2,021,606	795,257
内訳	2,726,409	4,201	2,000,000	1,995,799	730,610
財政所管分	90,454	64,647	90,454	25,807	64,647
災害援護資金分	17,979	17	0	17	17,996
公共施設等整備基金	895,349	601,197	0	601,197	1,496,546
公共施設保全積立基金	1,165,618	19,702	0	19,702	1,185,320
耐火物件火災損害填補積立金	19,795	17	0	17	19,812
文化振興基金	39,823	31	1,000	969	38,854
スポーツ振興基金	117,203	101	34,789	34,688	82,515
「青い鳥」福祉基金	21,078	18	21,096	21,078	0
長寿ふれあい基金	150,000	226	226	0	150,000
援護資金	111,043	723	0	723	111,766
藤田奨学福祉基金	135,514	265	1,728	1,463	134,051
協愛奨学基金	49,333	49,333	49,333	0	49,333
フレンド西宮商業床敷金積立基金	592,087	29,278	31,165	1,887	590,200
市営住宅敷金等積立基金	3	1	0	1	4
バス事業基金	144,879	119	9,983	9,864	135,015
公共土木施設維持補修基金	18,131	17	4,400	4,383	13,748
緑化基金	425,470	4,084	4,213	129	425,341
奨学基金	36,409	30	9,029	8,999	27,410
教育振興基金	9,838	9	0	9	9,847
図書館振興基金	109,266	4,588	62	4,526	113,792
学校給食費基金	20,045,319	802,929	6,522,478	5,719,549	14,325,770
合計	2,327,459	1,868	1	1,867	2,329,326
国民健康保険財政安定化基金	1,913,047	1,529	92,468	90,939	1,822,108
介護給付費準備基金	13,141	14	278	264	12,877
農業共済事業基金	76,471	5,278	16,335	11,057	65,414
中小企業勤労者福祉共済基金	4,330,118	8,689	109,082	100,393	4,229,725
合計	24,375,437	811,618	6,631,560	5,819,942	18,555,495
総計					

基金現在高の推移

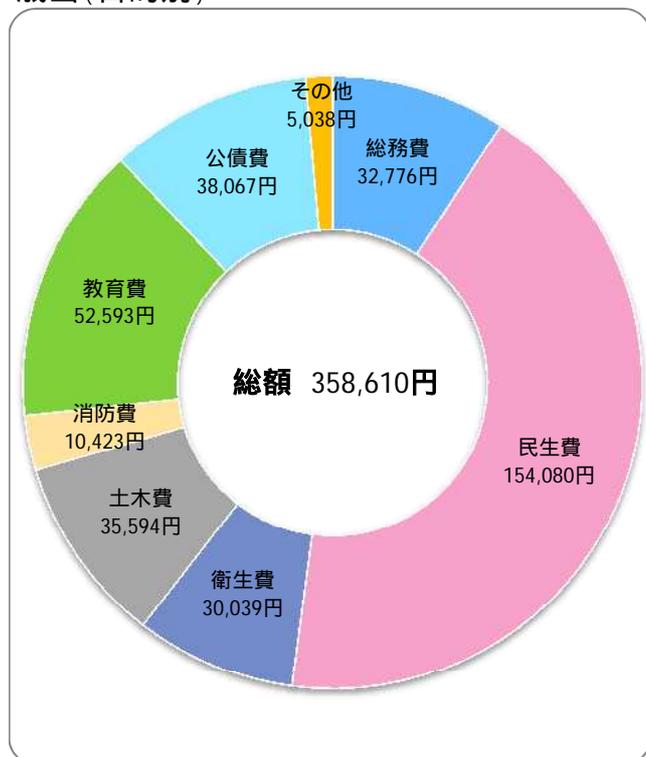


グラフ中のH26、H27の現在高は見込額です。

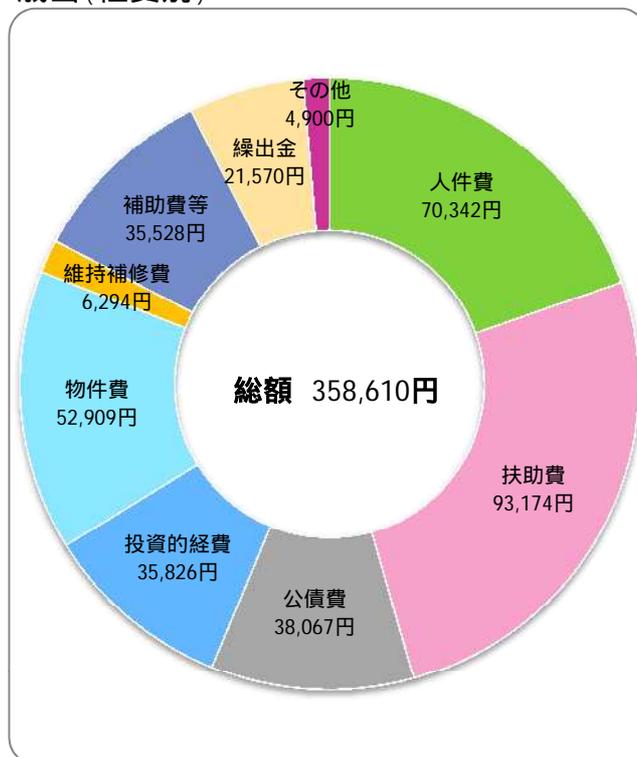
8. 市民1人あたりの予算額

一般会計の当初予算額1,747億5,033万9千円を推計人口(487,299人・平成27年1月1日現在)で除したものです。

歳出(目的別)



歳出(性質別)



(単位 円)

総務費	32,776	
民生費	154,080	
衛生費	30,039	
土木費	35,594	
消防費	10,423	
教育費	52,593	
公債費	38,067	
その他	5,038	
その他内訳	議会費	1,968
	労働費	514
	農林水産費	317
	商工費	2,097
	災害復旧費	4
	諸支出金	35
	予備費	103
計	358,610	

(単位 円)

人件費	70,342	
扶助費	93,174	
公債費	38,067	
投資的経費	35,826	
物件費	52,909	
維持補修費	6,294	
補助費等	35,528	
繰出金	21,570	
その他	4,900	
その他内訳	積立金	1,648
	投資及び出資金	730
	貸付金	2,419
	予備費	103
計	358,610	

市債・基金残高

(単位 円)

区分	市民1人あたり
市債残高	316,579
基金残高	38,078

(一般会計および特別会計分、平成27年度末見込)